

1971年解散 「ザ・タイガース」瞳みのるさん

欲張りに人生を楽しんできた。グループサウンドで一世を風靡した「ザ・タイガース」のドラマー、瞳みのる(本名人見豊)さん(68)が、県教育文化会館で講演した。人気絶頂期の解散、慶応大進学、

33年に及んだ高校教員生活、唱歌に光を当てる新たなライフワーク…。これまでの歩みを振り返り、何歳になっても挑戦することの大切さを同世代のファンらに伝えた。(文化部・河波まり)

欲張りに人生楽しむ

「ステージを降りて、教壇に立っていました」。瞳さんが登場すると、県内外から集まったファンから、タイガース時代の愛称「ピー」の声があふき起こった。

人気絶頂期に不安

京都府出身の瞳さんは、顔なじみだった森本太郎さん、岸部一徳さん、修三さん、加橋かつみさんと1965年にバンドを結成した。翌年には沢田研二さんが加わった。67年にデビューすると、

5人は瞬く間に国民的アイドルとなり、瞳さんは、沢田さんと人気を二分していた。だが、当時からバンドの将来に不安を感じていたという。

高校の教員に

71年にバンドが解散すると、京都の高校に復学し、1年間の猛勉強の末、慶応大文学部に合格した。「虚仮の一念というやつです」

唱歌に息吹き込む

現在は、中国と日本を拠点に、舞台のプロデュースや、唱歌に新たな歌詞を付ける活動などに力を入れている。仰

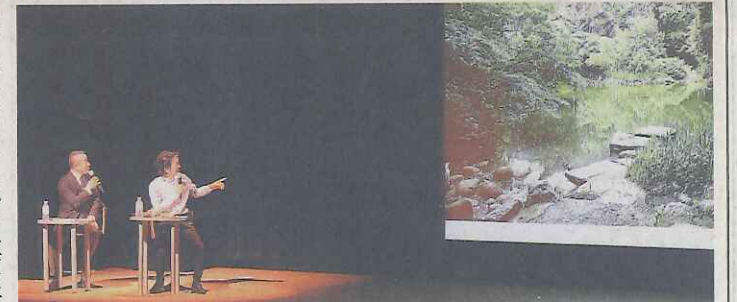
富山で講演 教職終え再び音楽



「ザ・タイガース」の1人などを振り返る瞳さん(県教育文化会館)

修二課程2年目に、担当の教授に勧められ、慶応高校の教員になった。「1、2年で辞めるつもりだった」が、やりがいを感じ33年間、漢文や中国語を教えた。

再び大きな決断をしたのは、2010年。65歳の定年を前に、音楽活動を再開するため高校を辞めた。「定年まで勤めると、余生をのんびり過ごしてしまいたい感じがした。自分にもう一度むちを打とうと思った」



スクリーンに写真を映し、近況を語る瞳さん(左から2人目) まに、同世代のファンは、共感したり刺激を受けたりしていた。富山市の主婦、大坪亮子さん(61)は「さまざまな経験をされていることを初めて知った。瞳さんのように楽しく元気に過ごしたい」と話した。

このページはシニア世代が読みやすいように、一部の活字を拡大したほか、行間を広げています。

くらし川柳

森谷 正成選 (小矢部市)

それぞれの意見出尽くし座が白け 価値観は一つでないと思ひ知る 事なかれ主義が胡座をかき上座 うぬぼれの靴薄水に気がつかず 陽だまりに安堵の鳥のハーモニィ プライドと個性が絡みあめ輪

小矢部市 村上 健二 砺波市 森清 泰範 水見市 古川 政章 南砺市 高田 幹子 富山市 竹内いそこ 富山市 金子千枝子

どうも日本人は議論がうまくないようです。感情が先行しては、ますます論点があいまいになります。

やはり実力以上に自分のことを優れていると思ひ込む危険性を指し示しています。自然の音の中で、春の鳥の合唱ほど快いものはないようです。冬の不安をかき消して、落ち着きを取り戻せるのです。

食を通じて生命に向き合っ

「食に生きる」

科学者ルドルフ・シェーンハイ もの。「食に真剣に向き合っ

自尊重みや誇りの空回りほどつまらないことはない。将来

全日本可支遺が

と社説

学カテストの内申活用

趣旨の逸脱は明らかた

7面

0120-88-3746

30年、どころか もっと前からやっ てる と思っ てま した。

ずっとずっと昔からあったと思われがちですが、
アピアは、今年で30周年。
これまでも、これからも、“みんなの地元”として、
みなさまの生活をハッピーにすることを目指しています。



30周年記念セール 開催!!

4/22(水) ~ 27(月)



食料品、文化雑貨、衣料、飲食、スポーツクラブ、カルチャークラブなど
買い物だけでなく、会話も楽しい、愉快的地元商店がいっぱい。

〒930-0010 富山市稲荷元町2丁目11-1 (富山地方鉄道稲荷町駅下車すぐ)
TEL.076-445-3111 営業時間 10:00~20:00
(一部テナントによって違う場合有、詳しくはウェブサイトにて)

<http://www.apa.gr.jp>

北
日
本
新
聞

00 おじや丸10窓だま 6.10 ニューエ富山人 6.15K NB エアライ 6.15N R65+自益